

IKP-YK 耐火ピロー 床用金具

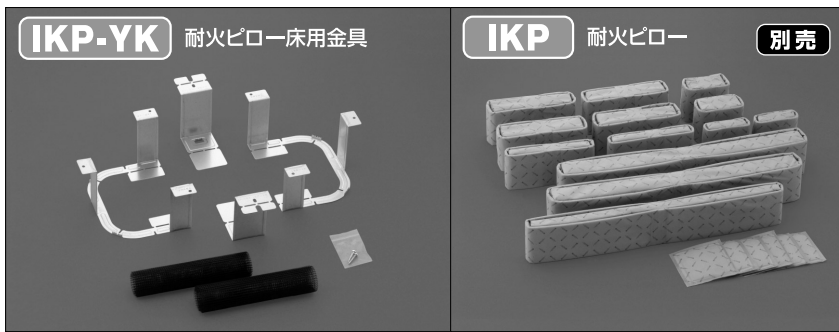
取扱説明書

注意

1. 施工は内線規定に基づいて行ってください。
2. ご使用の際は、本取扱説明書及び認定書をよくお読みください。
3. ケーブルサイズ選定の際には、認定書に記載の開口穴寸法及び占積率を共に満たすことをご確認ください。
4. ケーブルラックは開口部の中心になるように設置してください。
5. 区画貫通部にケーブルラックの子桁がはまらないようにしてください。
6. ケーブルは貫通部両側の近傍で必ず鋼材（ケーブルラック子桁など）に結束してください。
7. 厚さ100mm以上の床に適用されます。
8. 防火区画貫通措置部の上には乗らないでください。開口部を破壊して転落したり、隙間が生じる恐れがあります。
9. 防水機能はありません。必要な場合は別途防水処理を行ってください。
10. 屋外でご使用の場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。
11. 施工の際は、手を傷つける恐れがありますので、軍手などを使用してください。

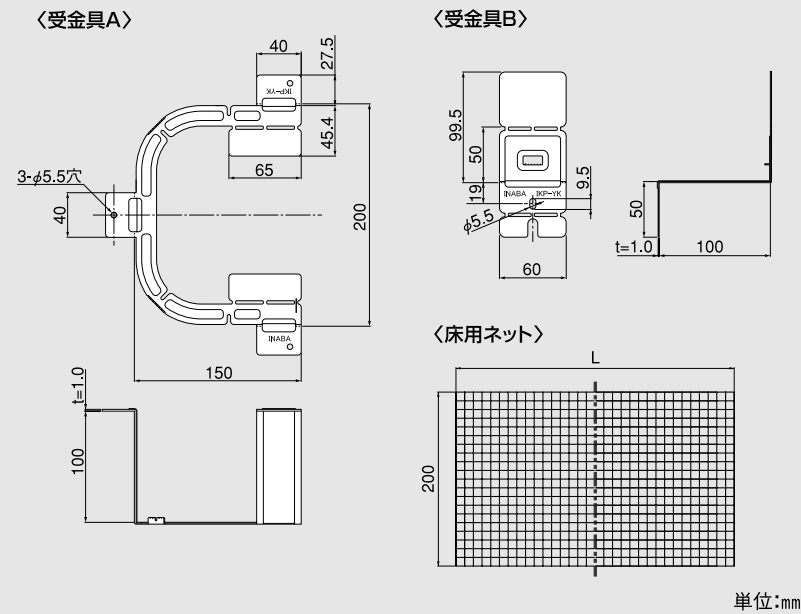
仕様

★耐火ピロー床工法は、IKP-YKとIKPを組み合わせての使用となります。

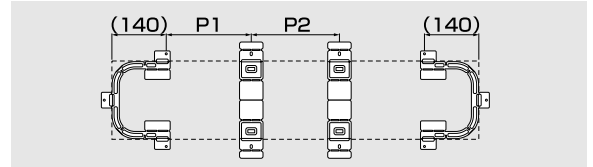


適用開口穴 (mm)	適合ケーブルラック幅 (mm)	耐火ピロー床用金具	
		型番	耐火ピロー型番
300×200	200	IKP-YK-3020	IKP-3020
400×200	300		IKP-4020
500×200	400		IKP-5020
600×200	500		IKP-6020
700×200	600	IKP-YK-7020	IKP-7020
800×200	700		IKP-8020
900×200	800		IKP-9020
1000×200	900	IKP-YK-10020	IKP-10020
1100×200	1000		IKP-11020
1200×200	1000		IKP-12020

床用金具キット寸法図

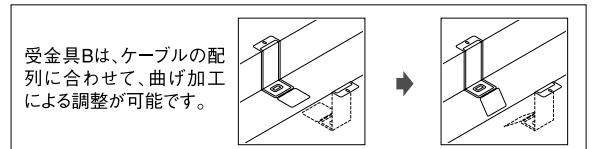


床用金具取付け寸法



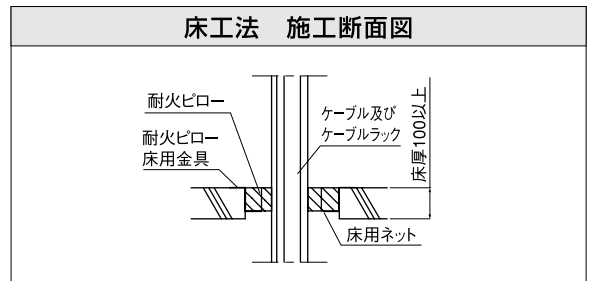
開口部内に受金具A及び中央部に受金具Bを落し込みます。受金具Bは、付属のコンクリートタッピングビスで床面に固定してください。

開口寸法	P1	P2
300×200	—	—
400×200	—	—
500×200	—	—
600×200	—	—
700×200	210	—
800×200	260	—
900×200	310	—
1000×200	238	239
1100×200	272	272
1200×200	310	300



床用金具 セット明細及び材質

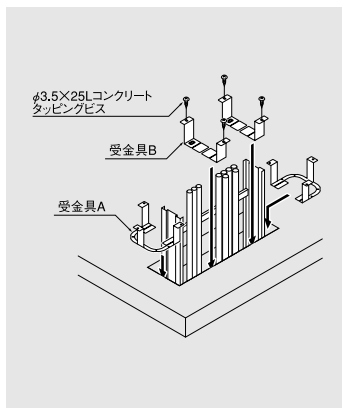
型番	部品数量				取扱説明書
	受金具A	受金具B	φ3.5×25L コンクリート タッピングビス	床用ネット (L×200mm)	
IKP-YK-3020	2	—	—	2 (600mm×200mm)	1
IKP-YK-7020	2	2	2	2 (900mm×200mm)	1
IKP-YK-10020	2	4	4	2 (1200mm×200mm)	1
材質	SGCC t=1.0	SGCC t=1.0	SUS410	PP	—



耐火ピローは、別途お買い求めください。

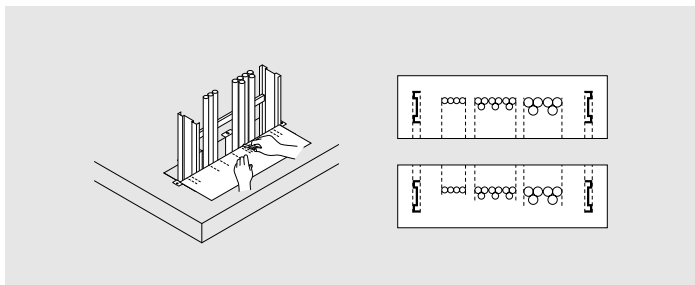
①開口部内に耐火ピロー床用金具A・Bを落し込んでください。
床用金具Bは、φ3.2×25Lの下穴をあけた後、付属のコンクリートタッピングビスで床面に固定してください。

注) 耐火ピロー床用金具の取り付けピッチは、前頁をご参照ください。

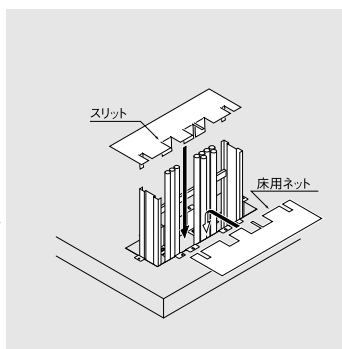
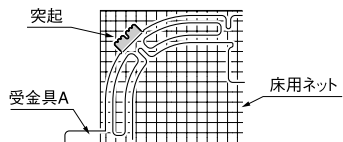


②貫通部のケーブル配線状況及びケーブルラックの形状にあわせて、床用ネット:2枚についてカッターナイフ、はさみなどでスリットをいれてください。

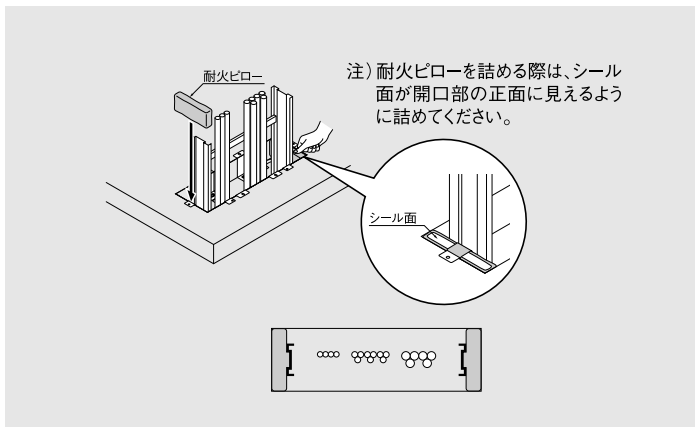
注) 開口幅が300~500、700~800、1000~1100の場合は、床用ネットを開口寸法に合わせてカットしてください。



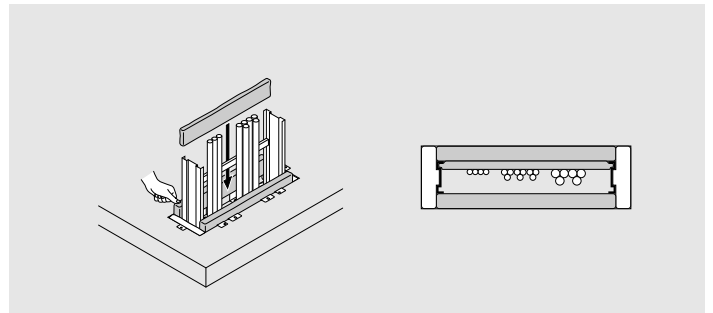
③スリットした床用ネット:2枚を両側から開口部内に落とし込み、床用金具の突起に引っ掛かるようにしてください。



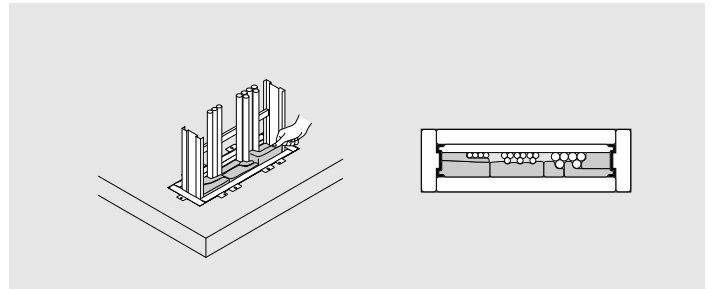
④ケーブルラックの左右両側の空間に耐火ピローを詰めてください。



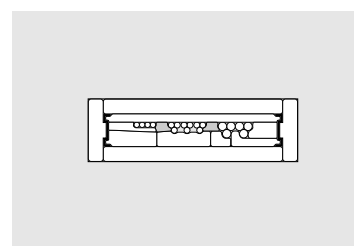
⑤ケーブルラック内及びケーブルラックの外側の空間に最大長さの耐火ピローを詰めてください。



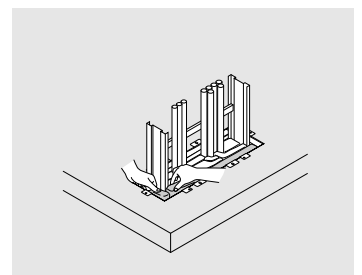
⑥残りの隙間に対して、耐火ピローを詰めてください。



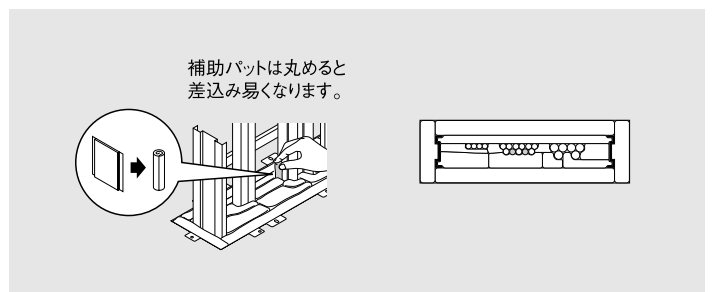
⑦ケーブル同士などの小さい隙間に対して、耐火ピローを変形させ、なじませながら詰めてください。



⑧全体的に耐火ピローをなじませ、ケーブルとの隙間や、耐火ピローの偏りを調整してください。



⑨全体に隙間が無いことを確認し、耐火ピローが入らないような小さな隙間が発生している場合は、隙間に補助バットを差し込んでください。(特にケーブル周辺やケーブルラック親桁周辺などに注意してください。)



困樞電機産業株式会社

●電産本部	●電工事業部	営業推進部(東京)	〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25(深川ギャザリアタワーS棟4F)	☎(03)5633-5850	FAX(03)5633-5855
		営業推進部(大阪)	〒550-0012 大阪市西区立売堀4-1-1-14	☎(06)4391-1941	FAX(06)4391-1945
	●ハウジング事業部	東京営業所	〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25(深川ギャザリアタワーS棟4F)	☎(03)5633-5858	FAX(03)5633-5860
		大阪営業所	〒550-0012 大阪市西区立売堀4-1-1-14	☎(06)4391-1911	FAX(06)4391-1913
●電材本部	●電材東日本事業部	商品企画部 商品2課	〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25(深川ギャザリアタワーS棟4F)	☎(03)5633-5800	FAX(03)5633-5801
	●電材北海道事業部	商品企画部 商品2課	〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25(深川ギャザリアタワーS棟4F)	☎(03)5633-5800	FAX(03)5633-5801
	●電材西日本事業部	商品企画部 商品1課	〒550-0012 大阪市西区立売堀4-1-1-14	☎(06)4391-1915	FAX(06)4391-1916
●電設本部	●電設東日本事業部	営業推進部(東京)	〒108-0075 東京都港区港南2-12-32(サウスポート品川9F)	☎(03)5781-1793	FAX(03)6718-1783
	●電設西日本事業部	営業推進部(大阪)	〒550-0012 大阪市西区立売堀4-1-1-14	☎(06)4391-1784	FAX(06)4391-1894
	●近畿電設事業部		〒530-0035 大阪市北区同心2-1-3-2-1	☎(06)6882-1928	FAX(06)6882-1929
●生産技術本部	●技術開発センター	開発部	〒550-0012 大阪市西区立売堀4-1-1-14	☎(06)4391-1755	FAX(06)4391-1749